

# 大学教員への道

大学教員には  
どうやったら  
なれるのかな？



長崎大学には1158名の教員がいます。そもそも、大学教員とはどんな仕事をするのでしょうか。どうやったらなれるのでしょうか。大学教員を含む、研究者を育成する機関としての大学院は、どんなところなのでしょう。今回の特集では、長崎大学の教員と大学院をクローズアップ。実際に活躍する先生方のインタビューを通じて、研究者としての大学教員の素顔を紹介します。



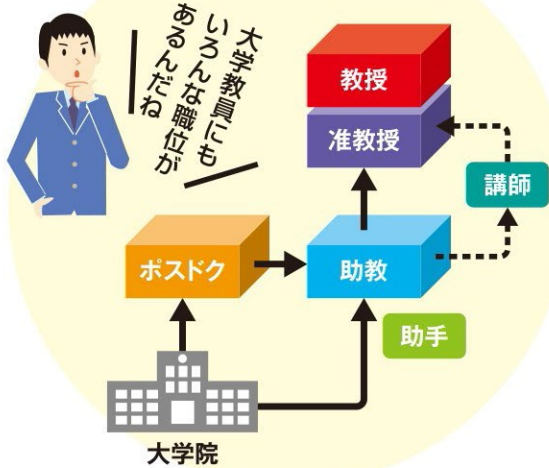
## 大学教員の仕事は 教育と研究が二大テーマ

大学教員は一般的に多忙な職業といえます。例えば、ある先生の一日のスケジュール。九十分の授業が複数コマ、その合間をぬって個別に研究室にやってくる学生の相談にのり、夕方には学内の委員会の会議も予定されています。受験シーズンともなると試験監督、入試問題を作る委員になるとさらに拘束時間が膨大に。学会で発表する自身の研究論文もまとめつつ、新聞社やテレビ局からは時折専門分野に関する問い合わせが舞い込みます。体がいくつあっても足りませんね。

大学教員の主な仕事はざっくり分けて四種類。①教育 ②研究 ③大学運営 ④社会貢献です。なかでも教育と研究は、二つの大きな柱で、相互に深い関係があります。学生の教育には、最新の専門情報が欠かせないため、自身の論文執筆はもちろん、学会参加や他の研究者との交流も不可欠。また、優秀な学生が育って大学院に進むと、自分の研究をサポートしてくれる頼もしい戦力になります。将来は研究のライバルになるかもしれません。そういう意味では、一〇〇%研究に専念する研究機関所属の研究者と違い、教育的な資質のある研究者が大学教員というポジションに就くことは理想といえます。

## 教授、准教授、講師、 助教、助手、ポストドク

一口に大学教員といっても、その肩書きは細かく分かれていきます。「教授」は専門分野のトップ。「准教授」はかつての「助教授」で、いわゆるナンバー2です。「助教」は教授や助教授をサポートしながら自身の研究や学生の教育ができる立場の教員。ちなみに、助教は任期制の場合もあります。また准教授に近い職位ながら、講義などの教育担当が多い常勤の「講師」。それに研究や教育のサポートを行う「助手」の職位もあります。そのほか研究室によっては、博士号を持った研究員、つまり「ポストドク」(Post Doctor) (博士(ドクター)を取った後(ポスト))が研究に専念する姿も見られます。



## 魅力的な先生方の下で 専門性を磨く

### 大学教員になる方法 またテニユア・トラックとは？

日本の場合、大学教員になるには、大学院を修了して修士号や博士号を取っていることが一般的な前提条件です。欧米の大学では「博士号」(Ph.D. = Philosophiae Doctor)取得者が絶対条件となります。大学院内それぞれのポジションが空いたり新しく設けられたりすると、まず、公募などで教員候補者が集められます。その論文や業績を人事委員会が評価検討し、選考された候補者が、採用されます。

また、最近よく聞く「テニユア・トラック」制度とは、優秀な若手研究者が、五年間大学教員として資金支援と研究スペースを得ながら研究活動を行い、期間内に所定の成果を取められると大学と安定的雇用契約を結ぶことができるシステムです。長崎大学では、この制度を取り入れており、多くの貴重な人材を獲得してきました(P.8)。

#### ●長崎大学教員データファイル

教員総数	1158名	(教授325 准教授285 助教459 講師87 助手2)
外国人教員	46名	(教授10 准教授13 助教22 講師1)
女性教員	218名	(教授30 准教授52 助教123 講師13)
教授の平均年齢	55歳	
最年少	教授42歳	准教授30歳

※データは2014年5月現在

### 研究者を育成する大学院。 学部との四年間との違い

学部教育で学んだ知識や経験を、さらに磨くために研究する場所——それが大学院。長崎大学の大学院には、六つの研究科があり、一つの学部には一つの研究科が対応するとは限りません。複数の学部が融合して一つの研究科を持っている場合もあります。教える側の大学教員の多くは、学部と研究科の両方で講義を受け持ちます。

#### 長崎大学の大学院

教育学研究科	(修士課程、専門職学位課程)
経済学研究科	(博士前期課程、博士後期課程)
工学研究科	(博士前期課程、博士後期課程、博士課程(5年一貫制))
水産・環境科学総合研究科	(博士前期課程、博士後期課程、博士課程(5年一貫制))
医歯薬学総合研究科	(修士課程、博士課程、博士課程(前期・後期))
国際健康開発研究科	(修士課程)



#### GRADUATE SCHOOL

### 長崎大学大学院に 進むことで見えてくる、 研究の方向性

大学院での学びはどんなものなのでしょう。長崎大学大学院の六つの研究科の一つ、水産・環境科学総合研究科の前科長、中田英昭教授にお聞きしました。

「通常、大学一年から四年までの学部四年間では、大人数の講義が中心です。四年で卒業研究のために研究室に配属されて、ようやく我々教員と学生が少人数で向き合いますが、論文制作は一年間しかありません。せっかく興味のあるテーマを見つけても、不完全燃焼のままで卒業するケースもありますね。できれば大学院の博士前期課程まで進んで、どっしり腰を落ち着けて研究に打ち込んで欲しいところです。近年の傾向として、前期での修士論文でトレーニングをして、後期でテーマを絞り込んでいくという学生も多いようです。また大学院では学部教育のサポートをするティーチング・アシスタントや、教員の調査や実験の手伝いをするリサーチ・アシスタントというシステムもあります。フィールドやラボで教員と共に調査や実験の経験は、研究技術を身に着けるのに最適です。院生は、指導教員の背中を見ながら、研究者としての資質や集中力を磨いていくのです」。

この研究科には、三年前に5年一貫制の「海洋フィールド生命科学専攻」が新設されましたね。

### 大学院卒業後、 大学教員へすすむ道

大学院を修了し学位を取得した後、大学教員を志望する場合、まずは大学での教員公募に挑戦します。また、研究員(ポスト)として、国内外のさまざまな大学の研究に関わりながら、キャリアを積み上げてから、教員を目指す人もいます。

近年、企業や官公庁、国立研究所、大学は、相互に人事交流が行われ「産学官連携」の共同研究も盛んです。また、大学教員でありながら官公庁や国の研究所で働いたり、企業や官公庁から大学へ転職するケースも多くみられます。つまり、「研究者」というプロフェッションの大きな枠のなかで人が動き、その一つの形として大学教員をとらえることもできるのです。

長崎大学にはさまざまな経歴を持つ教員が在籍しています。それぞれ、どのようにに大学研究者・教員への道を歩んできたのか、六名の例をご紹介します。

#### どのようにして 大学教員になったのか 見てみよう！



その通り！自分のテーマとしっかり向き合い掘り下げるのです。



まずは大学院で学位をとることなんです。



### 修士課程、博士課程、 5年一貫制とは？

大学院は修士課程や博士課程で成り立っています。それぞれの課程を修了すると修士号や博士号などの学位を取得できます。学位は、研究者にとって専門分野で働くパスポートのようなもの。修士課程は二年。かつてはその後続く博士課程が三年、計五年間のカリキュラムが一般的でした。しかし近年は博士課程五年とし、前期二年(基礎)、後期三年(さらに高度な専門性の獲得と実践)の二つに分けるようになりました。また、研究科によっては、一貫したテーマの下に専門性を高める「5年一貫制」の博士課程を設けているところもあります。

### 大学院は学部を 卒業したら 誰でも入れるの



大学院では選抜方法として、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試および進学者選考を設けており、それぞれの入試において学力検査を実施します。出願するときは、あらかじめ主に指導を希望する教員と面談するのが一般的です。大学院の進学は学部によってばらつきや違いがありますが、例えば長崎大学工学部では61.5%です。

院生になって研究の面白さがわかってきました。将来は国の研究所が大学教員をめざします。



水産・環境科学総合研究科の海洋フィールド生命科学専攻3年の長谷川隆真さんは、魚の稚魚の研究を行っています。海の「流れ藻」に110種類以上の稚魚が集まることから、成育に役立つ何かがあるのでは…と調査中。「船に乗って海の調査をするのが楽しいですね。5年一貫コースなので、3年間でデータを取り、2年間で比較、解析してまとめることができます」。

「はい、これは前期後期に分かれておらず、五年かけて国際的に活躍できる海洋フィールド研究者を養成するコースで、日本でも他に例がありません。海は季節変動や毎年の変化が大きく、二、三年で区切って研究成果をまとめるのは難しい。五年間なら、海外留学も含め柔軟に長期的な取り組みができます。定員は一学年五名ですが十九名の教員がその指導に当たる手厚い体制ですよ。うちの研究科は、長崎市郊外に環東シナ海環境資源研究センターという施設をもって、ここは他大学や海外の研究者の出入りも多く、いわば研究のエンジンのような所。いくつでも研究の幅を広げられます」。

この5年一貫制コースは工学研究科にもあります。長崎大学の大学院は、研究者育成のための多彩なコースがあり、時代の要請に合わせて枠組みも進化しています。自分に合う道を見つけてチャレンジしてほしいですね。